

第2章 計画の基本的考え方

共に育ち、育てあうまちづくり

子どもたちは、日々の積み重ねで成長していく存在であり、多様な経験を通じて自分自身で「育つ力（子育て力）」をはぐくみ、そして、心豊かな調和のとれた人間に成長するためには、家族との関係や地域の人たちとのつながりが必要です。

一方、親もまた、日々の子育てや地域社会を通して、子育てに対する責任を自覚し、知識を身に付けていくことにより「育てる力（子育て力）」がはぐくまれることとなります。

このように、子どもたち自身の「育つ力（子育て力）」と親の「育てる力（子育て力）」は、家庭や地域の人たちとの関係やつながりの中で、より豊かに大きく育っていきます。

親が「子どもを産み育てること」が喜びになるとともに、安心して、ゆとりをもって子育てができるような環境をつくるには、地域全体で支援していくことが必要であることから、家庭、地域、関係団体と連携して、「共に育ち、育てあうまちづくり」を目指していきます。

2 基本的な視点

基本的な視点1 子ども自身の育ちへの支援の視点

子ども一人ひとりに権利があることを理解し、子どもの利益が最大限に尊重されるまちづくりを進めていきます。また、将来、子どもたちが親となり、豊かな人間性を形成し、自立した家庭をもつことができるよう、長期的な観点に立った子どもの健全育成のための取り組みを進めていきます。

基本的な視点2 すべての子育て家庭への支援の視点

子育て家庭の生活実態や家族形態の特性を踏まえた上で、その視点に立った取り組みを進めていきます。また、配慮が必要な子どもや家庭に対しては、家庭的な養護や自立支援策の推進という観点も十分に踏まえた取り組みを進めていきます。

基本的な視点3 子育てを地域で支える視点

子育ての基本は家庭にあるとの認識のもと、地域全体で共に子どもの健全育成に努めます。

また、仕事と生活の調和のとれた社会を目指し、働き方の見直しを進めるとともに、子育ては男女が協力して行うものとの認識に立った取り組みを進めます。

行政や企業をはじめとする関係者が、連携して働き方の見直しを進めることが重要であり、地域の実情に応じた施策の展開を図っていきます。

3 基本目標**基本目標 1 子どもたちが自身が はぐくむ子育て力を支援します。**

子どもたちが、心身ともにのびやかに健やかに育ち、次の世代を担う人間になれるよう、社会とのかかわりの中で、様々な体験を通じて、自ら学び成長する力をはぐくむため支援します。

基本目標 2 すべての家庭で はぐくむ子育て力を支援します。

それぞれの家庭が、自らの責任と役割を持って子どもを安心して産み育て、親密な親子関係を築き、心豊かに安定した家庭生活を送ることができるよう支援します。また、利用者の視点に立ったサービスを充実させ、子育て家庭の孤立・不安や悩みを取り除き、親と子どもが一緒になって成長できるよう支援します。

基本目標 3 安全な環境で はぐくむ地域の子育て力を支援します。

核家族化の進行や、近隣とのつながりが薄まる中、安心して安全に暮らせる地域社会の実現に向け、子どもたちやその保護者などが交通事故や犯罪などに巻き込まれないよう、地域社会全体で積極的に活動を推進します。

基本目標 4 社会全体で はぐくむ子育て力を支援します。

子どもたちや子育てをする家庭を社会全体で支えるために、働き方の見直しや男女共同参画社会の実現を推進します。また、企業における、労働時間の短縮や育児休業制度の早期導入、男性の積極的な子育てへの参加などを通じて、社会全体で子どもたちをはぐくみ、支援する仕組みづくりを推進します。

4

施策の体系

基本理念

共に育ち、育てあうまちづくり

基本的な視点

基本目標

子ども自身の育ちへの支援の視点

1、子どもたちが自身が はぐくむ子育て力を支援します。

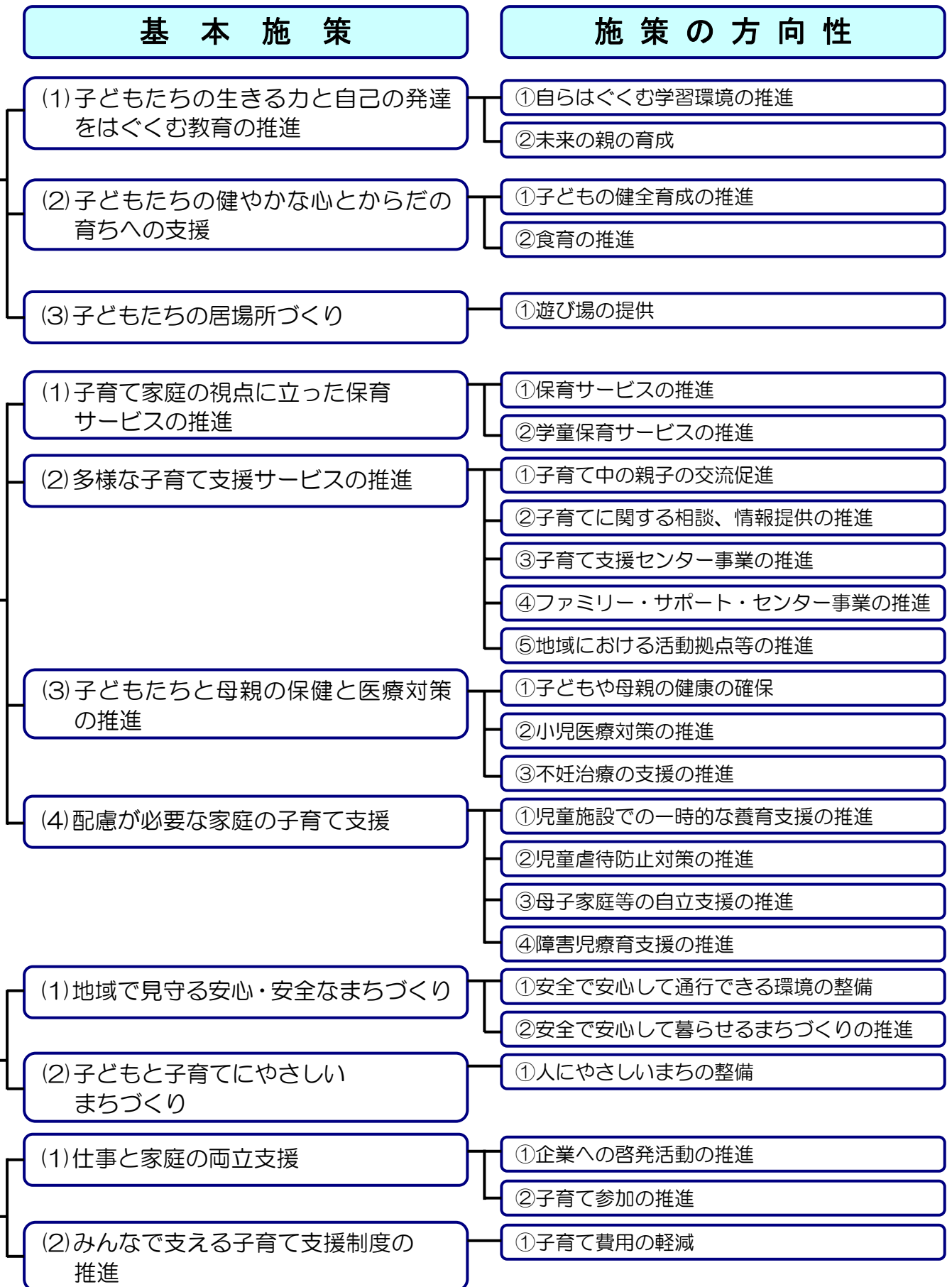
すべての子育て家庭への支援の視点

2、すべての家庭で はぐくむ子育て力を支援します。

子育てを地域で支える視点

3、安全な環境で はぐくむ地域の子育て力を支援します。

4、社会全体で はぐくむ子育て力を支援します。





子育て支援センター



交通児童遊園



保育園